

緊急事態への対応

1. 地震・津波対策

H23年3月11日に発生し、大きな被害をもたらした東日本大震災をきっかけに地震や津波への対応の見直しを行いました。記録に残る過去700年間に発生した関東周辺の大地震では小田原沿岸の津波被害はほとんどありませんでしたが、想定以上の大地震に備えるために津波も考慮した対策を進め、総合防災訓練に取り込んでいきます。

2. AED増設と救命救急知識の向上活動

① AEDの設置

神奈川事業場内では既にAED（自動体外式除細動器）を整備していましたが、緊急時により迅速に対応できるように、約3分以内でAEDが使用できることを基本に各建物に設置しました。また、建物入口にAED設置表示をすることで誰もが迅速に救命行動に移れる環境整備を行いました。

AED設置状況	
足柄サイト	38台
小田原サイト	24台
社宅・独身寮関係	8台
合計	70台



②救命救急講習会（AED講習会）

AEDの設置とともに従業員の多くが救命活動ができるように、H23年5月～9月にかけて、合計27回の社内講習会を開催し、従業員約500名が救命救急のスキルを身につける予定です。